

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	アフタースクールスマイルステーションタ陽丘		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 22日 ～ 2/14/2026		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57 (回答者数)	33
○従業者評価実施期間	2026年 1月 22日 ～ 2/14/2026		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	送迎時にその日の子どもの様子を詳しく保護者に伝えるようにしている。また、保護者と話した内容を職員で共有して全職員で子どもの共通理解に努めている。モニタリングの際は複数人で保護者の話を聞くようにしている。	職員朝礼などで前日の子どもの様子についてさらに詳しく話し合い、さらによりよい支援につなげていく。モニタリングで保護者のお話をさらに丁寧に聞いて共通理解ができよう努める。
2	十分なスペースがあり、清潔で過ごしやすい環境になっている。	毎日清掃をして、清潔な教室を保つようにしている。遊びと学習をする空間を分けてメリハリをつけて学習ができるように工夫している。	毎日の清掃を丁寧にやる。学習と遊びの切り替えを上手に子どもができるように教材を工夫していく。
3	毎月個別で職員面談を行っている。	毎月職員面談を行い職員の意思を尊重するように心がけている。	働きやすい環境づくりのために面談だけでなく会議等で職員の意思や考えを話しやすい環境づくりを心がける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害に備えた訓練や安全計画等が保護者に周知できていない。	対応マニュアルを掲示している場所を保護者に周知できていない。避難訓練については、年3回以上ビル内施設合同で行っているが、保護者の認知度が低い。	契約時の際に安全計画の掲示場所を案内したり、月1回のすまいる通信等で周知を行っていく。
2	保護者会開催の認知度が低い。	すまいる通信以外での宣伝をおこなっていないので、保護者に情報が伝わりづらい。	すまいる通信での宣伝に加え、チラシをつくるなどできるだけ多くのツールを使って宣伝する。